

## 第5回『リーダー・幹事会議』議事録

日時： 2009年10月14日 18:30～21:00

会場： ハートピア京都・第4会議室（4階）

議題： ①第2期プログラムについて  
②議題チームのあり方について  
③行動計画の実現プロセスについて  
④その他

出席者： リーダー・幹事：平井、宗田、中園、丹羽、新妻、若村、吉見、内藤、船戸、白井  
廣江、田村、萩原、美濃部、長澤（15名・敬称略）

チームメンバー出席者：野村（城と堀川）（1名）

事務局：嘉村、西尾、山口、立花、小林、絹川、奥園、松葉、佐原、保田（10名）

### 議事概要及び決定事項

#### ① 第2期のプログラムについて

＜第2期＞第1回定例会議配布資料（6～7ページ）記載の案が提案され了承された。

- ・ チーム横断的な勉強会の内容については、事務局で内容を詰めていく。
- ・ 公開フォーラムは、来年1月ごろから開催し、広く市民にPRしていく。

↑

#### プログラム案

- ・ 定例会議内での、＜勉強会＞＜チーム会議＞＜公開フォーラム＞＜全体会議＞の流れを十分に検討して行く。
- ・ 閉会前の＜全体会議＞はオープンマイク等として、全員で締めくくりをする。

#### 横串勉強会

- ・ 事務局提案を了承
- ・ 勉強会の内容を検討し、委員やチームのニーズに沿ったものとして行く。

#### 定例公開フォーラム

- ・ 事務局提案を了承。企画を進める。（単独チームや複合チームでの開催形態を検討）
- ・ 1月頃から公開フォーラムは定例化させ＜定例公開フォーラム＞と称し、毎月の定例会議内で開催する。
- ・ ＜定例公開フォーラム＞は100人委員会全体で市民に広くPRし、「毎月第4土曜日の決まった時間には常にまちづくりが語られている」という状態を目指す。
- ・ 定例会議とは別日程、別会場で開催されるフォーラムやシンポジウム等も推奨されるが、定例公開フォーラムとは別名称を設定する。

## ②議題チームのあり方について

---

第1回定例会議では、OST（議題出し）を行う。1期からのチームも新たためて行動計画等の議題出しを行い、また、新規議題の提案も可とする。新旧の議題に対し、原則、7名以上の参加者があったものを第2期の議題チームとするが、1期からの継続を大切にするという観点から、当日の結果を次回のリーダー幹事会議にて検討し、決定する。



- ・ 1期からの各チームは、7名の参加者（エントリー）が集まるように努める。そのための、議題の融合等は推奨される。
- ・ 参加者数等を踏まえて、次回のリーダー・幹事会議で<2期議題チーム>を検討し、決定をする。
- ・ 事務局は、チームへのフォロー体制について再検討し、次回リーダー・幹事会議にて報告する。

## ③行動計画の実現プロセスについて

---

### 京都市との連携について

- ・ 実現のプロセスは、一定の道筋はなく、チームにより様々だと考える。
- ・ ただ、この100人委員会は市長のトップダウンでの実施を目的とするものではなく、それぞれのチームが工夫して、行動する委員会として、取り組む必要がある。
- ・ 京都市は、現状、以下を行っている。
  - 1 次期基本計画策定審議会の70名の委員全員に「成果報告書」を配布
  - 2 提言に関連した担当課と各議題チームが実行に向けた議論を行う体制の整備

\*各議題チームが京都市担当課との議論を希望する場合は、事務局に相談して頂く。
- ・ 行動計画の実行のためには、行政に限らず、地域や企業などを巻き込む必要がある。

### 活動予算について

- ・ NPOや社会起業などでは、行政の予算に依存せず、企業や個人などから広く調達して活動する方が、市民活動としては強いという考えがある。
- ・ まず自分たちの活動で、何にどれくらいかかるのかを明確にすることが大事。
- ・ 「助成金を申請する」「商店街などに話をもっていく」など実現に向けて進めていく方法を勉強会などで学べるようにする。

## ④その他

---

次回第6回『リーダー・幹事会議』日程：11月9日（月曜日）18:30～ 会場未定